

ラグビーワールドカップ2019の準備状況について

1. チケット販売

2018年1月よりセット券の先行抽選販売が始まり、2月からは各試合毎の通常チケット先行販売が始まった。チケットの売れ行きは組織委員会の予想を上回り好調に推移し、2019年4月時点で130万枚が販売済みの状況である。5月には、第3次一般販売に続き、公式リセールサービスも開始され、8月には第4次一般販売が始まる予定。

- ※1 セット券とは、代表チーム毎の全プール（グループ）戦を観戦できるチームパックと開催都市毎の全プール（グループ）戦を観戦できるスタジアムパックの2種類。
- ※2 公式リセールサービスとは、チケット購入後、やむを得ず観戦できなくなってしまった場合、チケット購入者が公式チケットサイトを通じて購入したチケットを不特定の第三者に定価で販売することができるオンラインサービス。

2. ボランティア募集

2018年4月より募集が始まったボランティアについては、ラグビーワールドカップ史上過去最高となる約38,000人からの応募があり、当初予定を上回る約13,000人のボランティアが採用された。

○ボランティア名：TEAM NO-SIDE

○募集人数： 全国12開催都市 合計 約10,000人

○募集期間： 2018年4月23日（月）から7月18日（水）

○スケジュール： 2019年2月～ ボランティア研修
2019年夏頃～ 配置決定

3. 公認チームキャンプ地決定

ラグビーワールドカップ2019組織委員会は、決勝トーナメントで使用する公認キャンプ地も含め、すべての公認チームキャンプ地と契約を締結し、61自治体55件の公認チームキャンプ地が決定した。

公認チームキャンプ地に決定した自治体

所在地	自治体（55件61自治体）
北海道	北海道・江別市、札幌市(3)、網走市
岩手県	岩手県・釜石市、岩手県・宮古市、盛岡市、北上市
山形県	山形県・山形市・天童市
福島県	福島県
埼玉県	埼玉県・熊谷市(2)、さいたま市
千葉県	市原市、◎浦安市
東京都	◎東京都(3)*うち2件を決勝トーナメントで使用、武蔵野市、◎府中市、町田市
神奈川県	横浜市、海老名市、小田原市
山梨県	富士吉田市・富士河口湖町
静岡県	静岡市、浜松市、掛川市・磐田市、御前崎市
愛知県	名古屋市、一宮市、豊田市
滋賀県	大津市
大阪府	大阪府・東大阪市、堺市
兵庫県	神戸市・兵庫県、神戸市、淡路市・兵庫県
和歌山県	和歌山県・上富田町
山口県	長門市
福岡県	福岡県・福岡市、北九州市、春日市
長崎県	長崎県・長崎市、長崎県・島原市
熊本県	熊本県・熊本市(2)
大分県	◎大分県・別府市、◎大分市、◎別府市、◎大分県・大分市
宮崎県	宮崎県・宮崎市
鹿児島県	鹿児島市
沖縄県	読谷村

※1 複数の自治体の場合は、代表自治体・共同自治体の順で記載。

※2 ◎は、決勝トーナメントでも使用するもの。「大分県・大分市」は決勝トーナメントのみ使用

※3 ()内の数字はキャンプ地件数。